

老朽管更新事業とは？



前号では「平成30年度予算のあらまし」についてお知らせしましたが、今号では、その予算を計上した事業の中でも、「新・いわき市水道事業経営プラン」（平成29年1月策定）に最重要事業として位置づけた「老朽管更新事業」について説明します。

現在、市内の水道管の約2割は、整備されてから40年以上が経過し老朽化が進んでいるため、水道局では老朽管更新事業により古くなった水道管を取り替えています。

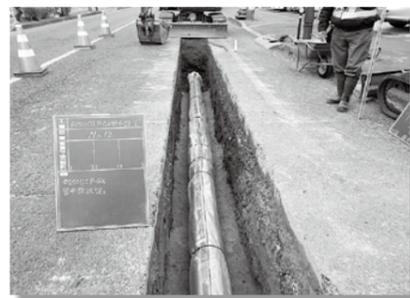
古くなった水道管は、腐食などにより破損したり、濁り水が発生したりするなどのトラブルが起こりやすくなります。また、大規模地震が発生すると水道管から漏水し、東日本大震災同様の断水が市内各地で発生する恐れがあります。

水道管は、管の材質・耐腐食性・耐震性の面などから、いわき市水道局独自の更新基準（実際に使用できる年数）を設定し、計画的に更新を進めています。

お客さまに安全でおいしい水道水を安定して供給し、生活を支えるライフラインとして災害に強い水道を目指すため、市内の水道管を年間26キロメートルを目標として取り替えています。



古くなった水道管が...



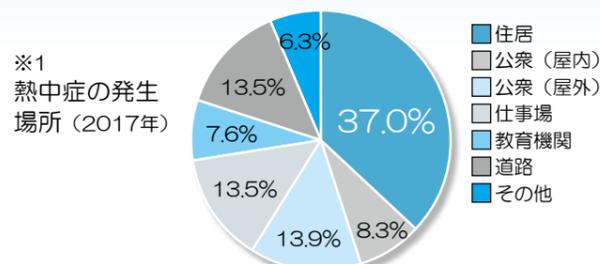
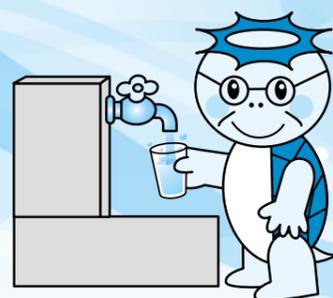
新しく耐震性のある水道管になりました！

お問い合わせ 配水課 配水計画係 TEL 22-9318

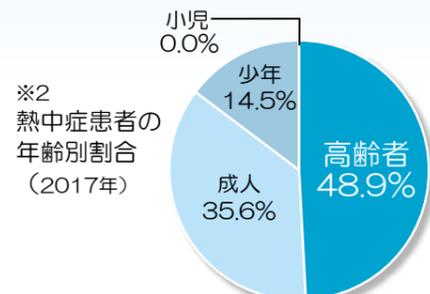
シリーズ 水と健康 ~その2~

部屋でも起きる熱中症に注意しましょう！

近年、節電意識から真夏に部屋の中※1で熱中症になる高齢者※2が増加しています。熱中症対策の基本は、水分補給です。自宅にいるときは、蛇口をひねるだけで簡単に飲める水道水で、こまめな水分補給を心がけましょう。



熱中症は、室内でも多く発生しています。



熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65歳以上）です。

出典：環境省リーフレット「熱中症～思い当たることはありませんか？～」

お問い合わせ 経営企画課 広報情報係 TEL 22-9309

水道週間イベントを実施しました！

水道局では、水道週間（6/1～7）にあわせ、水道について住民の皆さまの理解と関心を深めることを目的として、いわき・ら・ら・ミュウを会場に、「絵画展」や「写真展」、「きき水コーナー」、「クイズラリー」などの様々なイベントを実施しました。

たくさんのお客さまに来ていただき、会場は大盛況でした。

絵画展・写真展



応募のあった314点の絵画作品と、99点の写真で会場が彩られ、多くのお客さまが足を止めて鑑賞していました。

クイズラリー



イベント会場にかくされているヒントを手がかりに、クイズを解きながら、水道について学んでいただきました。



親子実験教室



6月2日に行われた親子実験教室には、親子34組の参加があり、水飲み鳥の製作やペットボトルの船作りなどを体験しました。それぞれに発見や感動があり、親子のふれあいの場にもなりました。



写真展講評会



写真家の上遠野良夫先生から、入賞作品に対する講評やアドバイスが行われ、参加された皆さんは真剣に聞き入っていました。

きき水コーナー



水源の異なるいわきの水道水2種類と、市販のミネラルウォーターを飲み比べて「おいしい！」と思うものに投票していただきました。

来年も楽しい水道週間イベントを企画します。お楽しみに!!



いわきのゆるキャラ



ミュウとフラおじさんも会場に遊びに来てくれました。

お問い合わせ 経営企画課 広報情報係 TEL 22-9309